平成二十二年度　小坂公民館主要事業

1月10日	校下成人式・　新年互礼会	総務部
24日	新年ゲーム大会	少年部
16日	のだめカンタービレのコンサート	青年部
2月 5日	立志の集い	少年部
3月27日	子供ひなまつり会	少年部
28日	酒蔵見学	文化部
5月 8日	地域めぐり「里山散策」	総務部
12日	蓮の実女性学級開級式	女性部
18日	町会対抗グラウンドゴルフ大会	体育部
30日	町会対抗ソフトボール大会	体育部
6月 4日	蓮の実女性学級「料理教室」	女性部
11日	健康教室「カローリング」	総務部
27日	写真撮影バス旅行	広報部
7月 4日	町会対抗「ソフトバレーボール」	体育部
6日	健康教室「ストレッチとチューブ体操」	総務部
7日	蓮の実女性学級「絵手紙教室」	女性部
25日	子供グラウンドゴルフ大会	少年部
8月 1日	乗鞍にアタック	青年部
7日	手作り教室「和菓子作り」	文化部
25日	蓮の実女性学級・健康教室「合同講演会」	女性部・総務部
29日	小坂っ子なつまつり	少年部・総務部
9月 5日	蓮の実女性学級「写経してみませんか」	女性部
9日	健康教室「山中温泉鶴仙峡遊歩道ウォーキング」	総務部
26日	社会体育大会	体育部
10月24日	小坂校下「文化祭」	文化部
11月18日	健康教室「栄養教室　ソーセージ作り」	総務部
21日	町会対抗「フレッシュテニス大会」	体育部
12月 5日	避難訓練・大掃除	総務部
25日	フラワーアレンジメント教室	文化部

平成二十二年度　役職員・事業専門部員

館長　谷村昭雄
副館長　長谷川弘洋
〃　竹川操枝
〃　田中邦夫

総務部
部長　棒田正二
副部長　千田繁
〃　松原澄 ※
越村聡
中本一雄
寺井あけみ
西野美津江
松嶋治
新田町挙司
田中京子

文化部
部長　山田耕一
副部長　一明政行 ※
〃　津田祐子
平野修一
上野芳子
五十嵐雅恵
山下治美
西永哲成
長久保実

体育部
部長　西村隆幸
副部長　中村進
〃　保積美津江 ※
〃　嶋崎敏樹
〃　松田正樹
米林浩巳
笠木真一
村上信義
中條昌人
晋和益生
山上誠
高長公男
小畑優
多村琢也
堂野雅之
田中則章
和田孝
橋真一

広報部
部長　田畑美貴子
副部長　桝田涼子
〃　下出智子
松原澄
一明政行
米沢邦明
保積美津江
鳥山佳永
蔵元千賀子

青年部
部長　矢木俊次
副部長　櫻井敏久
木谷真理子
室木貴幸
鳥山佳永 ※
神谷陽一
田中尚子

少年部
部長　米沢邦明 ※
副部長　田丸喜博

女性部
部長　加藤幸子
副部長　喜多栄子
〃　蔵元千賀子 ※

職員
主事　北本節子
事務員　千田志津子

（※は広報部と兼任する部員）

編集後記

谷村館長の指導の下、館報「こさか」第２号ができあがりました。
公民館のことをより深く知ってほしいという館長の思いで出来上がった館報です。
たくさんの方にご覧いただき、館長の思いが皆様に届きますことを願っています。

第２号
平成23年1月1日

こさか

発行
金沢市小坂公民館
金沢市小坂町北312
TEL 252－3067

広報部創設２年目に寄せて

当公民館は平成21年4月、広報部を創設してそれまで総務部が担当していた視聴覚・広報業務を広報部に移し、業務処理体制の充実を図りました。

そのねらいは、地域の皆さまと公民館が、従来にも増して連携を深め、相互に情報を提供し合い、より多くの皆さまに公民館を知っていただこうとの思いからでした。

さかのぼる平成16年、当公民館のＩＴサークルが中心となって、市内60公民館の先陣をきってホームページ“こさか”を立ち上げました。コンテンツを充実補完し、今日も継続していますが、これが当公民館における広報業務改革取り組みの第一歩でした。

その後平成20年には、公民館と深く係る社会教育法の改正があり、公民館の「運営状況に関する情報の提供」が新たな条文に加えられ、これに応える体制づくりが必要となってきました。

ホームページを立ち上げた当時の町会数は18町会、東金沢町会・小坂第一町会・小坂三ツ屋町会などでは、一部の方が町内会のホームページを作成できるほどＩＴ技術を習得されていましたが、その他の多くの方々はまだまだの状態で今日に至っています。

平成22年、新しい町会「ガーデンシティ東金沢」が誕生し、当公民館の町会数は19町会、世帯数4,500世帯、人口約11,300人となりました。（10月1日現在金沢市住民基本台帳から）

一方、当公民館は平成24年4月1日で、創立60周年を迎えます。

これを機に、創設２年目を迎えた広報部の活動をより充実し、初期の目的を達成したいと考えています。

地域の皆さまの更なるご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

館長　谷村昭雄

小坂公民館平成23年度業務運営指針

当公民館では毎年、運営審議会の諮問を経て、翌年度の公民館業務の運営指針を前年度に決め、各種事業の推進に役立てています。平成23年度の業務運営指針の骨子は以下のとおりです。

◇事業実施にあたって基本となる事項

① 指定管理者制度（金沢市との公民館運営の委託協定で、指定管理者として守らなければならない事項）を遵守した業務の遂行
② 地域住民に真に役立つ公民館活動の推進
③ 公民館建物の老朽化への対応
④ 学校を含む地域諸団体との強固な連携
⑤ 前向きで、意欲に満ちた公民館の人づくり施策の実施等

◇事業活動の重点事項

当公民館は、地域住民の共同生活体（コミュニティ）の拠点施設として、生涯を通じて、気軽に集まり、心身ともに健康で、楽しい生活を送るための智恵や知識を学びあい、憩い合う場所となるよう次の事項を事業活動の重点とします。

① みんなで助け合い、支え会いのできる地域にするための活動
② みんながスポーツ（体力づくり）に参加できる地域にするための活動
③ みんながパソコンができる地域にするための活動
④ 地域の新名所や新文化・新芸能を発掘し、保存するための活動
⑤ 大人から子どもまでが進んで“あいさつする地域づくり”の展開
⑥ 創意工夫を生かした公民館活動の展開
⑦ 小坂公民館創立60周年記念事業の実施
⑧ 広報部を中心とする公民館広報活動の充実

平成22年度の主な出来事

月	出　来　事
4	谷村昭雄氏が当公民館館長に再任 金沢市との指定管理者制度協定更改 （向う5年間の指定管理者に決定） 金沢市から地域コミュニティ活性化 （子ども交流）事業受託 谷村昭雄氏が金沢市公民館連合会副会長に再任
5	1階和室エアコン設備改修工事完了 谷村昭雄氏が石川県公民館連合会副会長に再任
6	2階ホール音響設備改修工事完了
7	“みんなであいさつする運動”開始 （平成22年度中）
8	小坂っ子夏祭りで神谷内・御所・小坂の3獅子舞保存会が演技競演
10	第32回全国公民館研究集会金沢市7会場で開催 （運営協力） 谷村昭雄館長が文部科学大臣 “生涯スポーツ功労賞”受賞

各種団体の功労者表彰（文化祭で受賞）

●小坂校下老人連合会
　小坂金行・坂口洋子
●小坂校下少年連盟
　川向　聡・高橋　勝・竹川晃代・花外正美
●小坂校下母親クラブ
　山下佳恵
●小坂公民館
　小坂金行・林　　劭・棒田　剛・柳瀬邦夫
　越村　聡・多村琢也

公民館の概要

【創設年月日】
昭和27（1953）年4月1日（現建物建設：昭和49（1974）年12月）

【対象区域】
金沢市小坂小学校区域

【区域の人口及び世帯数等】（平成22年10月1日現在）
人口：11,335人（男　5,542人・女　5,793人）
0～14歳　1,767人（15.6%）・15～64歳　7,302人（64.4%）・65歳以上　2,266人（20.0%）
世帯数：4,577
面積：6.69km²（人口密度　1697.4人／km²）
【出所】平成22年10月1日現在住民基本台帳（金沢市調査統計室統計）

【開館時間と休館日】
開館時間：午前9時～午後5時30分
休 館 日：日曜日・月曜日・国民の祝日・12月29日～1月3日

【施設区分と建築面積】
小坂社会文化センター複合施設
公　民　館：337.75m²（47.8%）
児　童　館：298.06m²（42.2%）
老人憩いの家：70.38m²（10.0%）
計　706.19m²（100%）

【施設の概要】
1階：和室（32畳）・学習室（15人程度）
憩いの間（和室15畳・12畳）
2階：ホール（150人程度）・会議室（15人程度）
調理室（20人程度）

【備付け設備】
TV・VTR・パソコン・ピアノ・調理器具一式

【開設教室等】
・珠算教室　・習字教室　・筆ペン教室　・太極拳教室　・俳句教室　・お煎茶を楽しむ会
・押し花教室　・大正琴教室　・絵手紙教室　・本を楽しむ会　・子ども作法教室
・フラワーアレンジメント教室　・コーラス“コールこさか”・3B体操
・ITサークルクリッククリック・しろはすフォークダンス友の会
・ソフトバレーボールクラブ　・小坂バドミントンクラブ　・フレッシュテニスクラブ
・小坂バウンドテニスクラブ　・小坂ジュニアバレーボールクラブ・小坂BBCクラブ
・小坂ミニバスケットボールクラブ・北鳴ジュニアバレーボールクラブ

【小坂公民館の予算】（平成22年度当初予算額）

収　入　予　算		支　出　予　算	
金沢市委託費	11,383千円（64%）	人　件　費	6,649千円（37%）
地元負担金等	6,518千円（36%）	管　理　費	5,443千円（30%）
		事　業　費　等	5,809千円（33%）
計	17,901千円（100%）	計	17,901千円（100%）

各部会　平成22年度の活動の思い出

体育部

体育部が中心となり、校下の方々へのスポーツを行う機会を多く提供することが公民館での体育部の役割です。また、色々なニュースポーツを紹介し、校下の方々が自発的に中心となり活動出来る土壌造りも課せられた課題ではないかと思います。実現すれば、まさに金沢市が理想とする公民館が中心となった「総合型地域スポーツクラブ」に近づいて行くことになるのではないでしょうか。私達体育部一同はそういう大きな目標に向って、微力ながら全員で活動して行きますので皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

	グラウンドゴルフ大会	ソフトボール大会	ソフトバレーボール大会	フレッシュテニス大会	社会体育大会
優　勝	三池町会A	御所町会	三池町会	小坂第一町会	東金沢町会
準優勝	新葵町会	神谷内葵町会	神谷内葵町会	東金沢町会B	神谷内町会
3　位	御所町会A	神宮寺2･3丁目町会	神谷内本町会	御所町会	小坂第一町会
3　位		東金沢町会			

文化部

文化祭　「万歩でマンボ」等で限界に挑戦

文化祭は10月24日(土)小坂公民館および同駐車場で開催した。

今年の文化祭は「限界に挑戦」を課題として開催、2階ホールでは、「限界に挑戦コーナー」が設けられ、①A5版の紙で紙飛行機をつくり、舞台の上から飛ばす距離を競う「紙ひこーき飛ばし」、②マットの上に置いたビー玉を腰から上の高さから10個のビー球を落とし当たった回数を競う「目玉おとし」、③形の違った各種のカップめんを30秒間で何個積めるかを競う「カップ麺積み」、④万歩計を腰につけ30秒間で足踏みできるかを競う「万歩でマンボ」、⑤けん玉を30秒間で乗せる回数を競う「けん玉」の5種目にチャレンジ、満点の100点を目指し挑戦した。60点以上の者は、抽選機を回す権利を有し、豪華賞品をゲットした。

文化祭は社会体育大会に次ぐ大イベントです。スタッフ88人が来店者の応対と「焼きそば」「レンコン販売」等の模擬店の販売や各種のイベント開催を担当した。7月から文化部が中心となり計画、実行委員会を開催するなど、各部門の役員方々の協力を得て無事終了した。感謝

少年部

小坂少年連盟では10月に1泊2日の合宿を白山青年の家で実施しました。合宿では野外活動、レクレーション、肝試しや野外炊飯などを行っており、今年の野外活動は昔、北陸鉄道の電車が走っていた線路跡を利用した自転車専用道で、二人乗り自転車を使ったサイクリングを楽しみました。子どもたちも二人乗り自転車に乗るのは初めてで、最初はなかなかお互いの息が合わずおっかなびっくりしていましたが、すぐに慣れ、気持ち良さそうに風を切って走ることができました。当日は天気も良く、緑に輝く自然の中、本当に良い体験ができたと思います。ご協力下さった子ども会のお父さんお母さん方、中学高校生リーダー、初めて参加してくれた金沢星稜大学の学生さんたち、みんなありがとうございました。

青年部

乗鞍岳登山　2010年8月1日(日)

この記事を書くにあたりいろいろ思い浮かべています。

バスの中ではガイドさんの話に聞き入ってしまい、気がつけば、畳平に到着。乗車前にいただいたポテトチップスの袋が、パンパンになっていることが昨年同様、到着のしるしです。

昨年と唯一違うのは、一面快晴の景色です。歩くと少々汗ばむ暖かさでしたが、昨年果たせなかった頂上めざして歩きました。

頂上に到着して四方を眺めると、素晴らしいパノラマが広がっていました。素晴らしかったです。

帰りは下界の夏の熱気で発生した上昇気流による天候の変化で急激に温度が下がりましたが、ほてった体にはいいクールダウンでした。

日常生活をすっからかんに忘れることができました。

広報部

撮影会　2010年6月27日(土)

広報委員会は毎年一回写真撮影会旅行を行っています。今年は福井県の永平寺、東尋坊、水仙ランドに行きました。

どこの場所でも、どの様にしたらいい写真が撮れるかと皆さんいろいろな角度からターゲットを狙うのでその姿がとても面白いのです。

東尋坊では船に乗って海から写真を撮るのですがみんな一斉に同じ方向を向いて撮るので

船長さんが私たちを日本人ではないと勘違いするほどでした。

この時に撮った写真は暑中見舞いの作成に使いまた、文化祭ではフォトアルバムを作り作品を展示しました。

皆さんといろいろ話をしたりして楽しい思い出となりました。

女性部　蓮の実女性学級

心静かに「写経」に取り組みました。

9月5日(日)、浄土宗「寿経寺」で写経をしました。このお寺は東山にあり、七稲地蔵さまがお祭りされていることで有名です。

当日は穏やかなお天気で、27名の方が参加されました。

浄土宗のお寺ということで、「法然上人の一枚起請文」を心を込めて

写経しました。集中して筆を進めるうちに日常生活での心のさざ波が少し平静になるようで、大変貴重な経験となりました。参加者の中には20才代の方もおられ、若い方も関心を持っていらっしゃることに次代への希望も感じた一日となりました。

総務部

10年ぶりの競演　2010年8月28日(土)

毎年、小坂校下少年連盟育成委員会の企画で開催されている小坂っ子なつまつりに、小坂地区に伝わる3団体の獅子舞がアトラクションとして競演しました。

この競演は子どもや若者たちへの伝統芸能の関心を高めることと、次世代への伝承、後継者の育成を目的とし、小坂地区に伝わる獅子舞を神谷内・御所・小坂の獅子舞保存会および各種団体の協力のもと、盛大に開催され、炎天下での勇壮な演舞に観客は大きな拍手を送りました。

祭礼など地域行事に参加する子どもの少子化又住民の高齢化等により担い手が少なくなる中、今回の共演より、より多くの人が獅子舞の伝統芸能を身近に感じ興味を持っていただける事が出来たのではと思います。